

15. Sinopec

(1) 企業概要

Sinopec は、中国第 2 位の原油・天然ガス生産企業、かつ中国最大の石油製品、石化製品の製造・販売企業であり、3 大国有石油企業の一つである。

同社の前身は、1983 年に精製及び石油化学事業を行う石油下流専門の事業体として誕生した中国石油化工総公司である。1990 年代になると、油田・ガス田開発をはじめとする上流事業専門の中国石油天然気総公司とともに事業再編が行なわれ、1998 年に石油事業の上流事業から下流事業までを一貫して行う垂直統合企業 Sinopec へと改編された。その後、Sinopec から油田・工場・販売などの現業部門が分割民営化されることになり、2000 年には傘下の民間企業として中国石油化工股份有限公司が誕生し、香港、上海、ロンドン、ニューヨークの各証券取引所に上場を果たしている。

Sinopec の 2019 年 12 月末時点での確認埋蔵量は、原油が 17.41 億 bbl(前年比 4.5%増)、天然ガスが 7.225Tcf(前年比 6.1%増)である。また、2019 年の原油の生産量は 2.84 億 bbl(前年比 1.5%減)、天然ガスが 1.047Tcf(前年比 7.2%増)であった。また、2019 年の天然ガス販売量は 28.78 Bcm(前年比 9.7%増)、LNG 販売量は 474 万トン(前年比 65.9%増)に拡大した。

Sinopec の LNG 液化・受入基地図



IV. 主要企業別 LNG 事業動向

(2) LNG 関連

同社は 3 大国有石油企業の中で、LNG 輸入に関しては後発である。2009 年 4 月、パプアニューギニアの PNG LNG プロジェクトから年間 200 万トンの長期購入に関する基本合意を交わし、同年 10 月正式に契約した。並行して山東省青島での受入基地の建設を進め、2010 年に着工、2014 年 12 月にパプアニューギニアから初カーゴを受け入れた。

2019 年 4 月、Sinopec 子会社の Unipec は ExxonMobil が操業する Papua New Guinea LNG との間で LNG 売買契約を締結、2019 年から年間 45 万トンを 4 年間購入する。2019 年 11 月にはインドネシア PT Perusahaan Gas Negara とも LNG 売買契約を締結、2020 年は少なくとも 6 カーゴを購入する予定とされていたが、COVID-19 の影響もあり、購入開始時期は 2021 年に延期される。また、2019 年 6 月、ロシア Novatek、Gazprombank と中国国内におけるガストレーディングに関する合弁会社を設立することで合意した。合弁会社は Novatek から LNG を購入し中国国内の消費者へ販売する。

一方、これらの LNG 調達活動と並行して、山東省青島、広西壮族自治区/北海、天津南港で受入容量の拡大、浙江省温州、浙江省舟山、江蘇省連雲港、山東省烟台瀧口で LNG 受入基地新設計画を進めている。天津南港基地では 2020 年 4 月にタンク増設に着工し、220,000 m³ タンクを 5 基・新規栈橋 1 本を建設する。同基地受入容量は 2021 年末までに年間 1080 万トンに拡張される。また、2020 年 5 月に浙江省舟山市と舟山六横 LNG 基地建設協定を締結、第 1 段階では年間受入容量 700 万トンの設備を建設する予定であり、2021 年の着工、2024 年完成を目指す。2019 年の Sinopec グループでの LNG 輸入量は 1524 万トン(前年比 62.8%増)であった。

Sinopec が出資する LNG プロジェクト

国名	プロジェクト名 (Train名)	液化能力 (万トン/年)	生産開始	出資者	主要仕向地
オーストラリア	Australia Pacific LNG (Train 1)	450	2016年	Origin Energy 37.5%, ConocoPhillips 37.5%, Sinopec 25%	アジア
	(Train 2)	450	2016年		

Sinopec の LNG 契約

輸出国	プロジェクト	契約期間 (契約年数)	契約数量 (万トン/年)	受渡条件
オーストラリア	Australia Pacific LNG (Train 1-2)	2015-2035年 (20年)	760	FOB
パプアニューギニア	PNG LNG	2014-2033年 (20年)	200	DES
パプアニューギニア	PNG LNG (Unipec 購入分)	2019-2023年 (4年)	45	N.A.
インドネシア	Pertamina Portfolio PT Perusahaan Gas Negara	2020年- (N.A.)	年6カーゴ	N.A.

Sinopec が出資する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
中国	山東省青島 (Shandong, Qingdao)	Sinopec	300	2014年
	<Phase 2>		400	2021年 (建設中)
	<Phase 3>		400	2023年 (計画中)
	広西壮族自治区/北海 (Guangxi, Beihai)	Sinopec、広西投資集团有限公司、 広西北部湾国際港務集団	300	2016年
	<Phase 2>		300	計画中
	天津市天津南港(Tianjin)	Sinopec	300	2018年
	<Phase 2>		780	2021年 (建設中)
	浙江省温州 (Zhejiang, Wenzhou)	浙江省温州LNG有限公司(Sinopec 41%、浙江省 能源集团有限公司51%、地方投資会社8%)	300	2021年 (建設中)
	<Phase 2>		700	2025年 (計画中)
	浙江省舟山 (Zhejiang, Zhoushan)	Sinopec	700	2024年 (計画中)
	江蘇省連雲港 (Jiangsu, Lianyungang)	Sinopec	300	計画中
	山東省 烟台港 (Shandong, Yantai)/瀧口港	Sinopec天然気分公司 50%、恒通股份有限公 司 32%、瀧口港集团有限公司 18%	600	2023年 (建設中)
<Phase 2>	1,400		計画中	

Sinopec も参画する Australia Pacific LNG (AP LNG) のオペレーターである Origin Energy は、COVID-19 の影響による油価下落と需要減少を受け、AP LNG 向け設備投資を 3~4 億豪州ドル削減することを決めたと発表したが、生産量には影響はないとしている。

(3) 今後の戦略

中国は新たな国営パイプライン会社 PipeChina を設立した。中国石油大手 3 社から天然ガス、LNG 設備を引き受け、第三者開放を含めた運用を開始する。Sinopec も一部パイプライン、LNG 基地を PipeChina に引き渡す。

Sinopec は国内の探鉱と生産の拡大を目指しており、ガスでは南川区や四川省のシェールガス田、オールドス市の在来型ガス田等で新たな発見があった。四川や宋寮でのタイトガスの探鉱も拡大している。輸入 LNG を含めて、拡大する国内需要に対応する。

R&D 分野の拡張を進めており、イノベーション主導の開発戦略を実施し、主要な技術革新を加速、クオリティーの改善に努める。石油・ガス探鉱では、超深層石油・ガス、タイトオイル、シェール等の技術革新に尽力する。